

平成25年 第2回 伊丹市教育委員会 定例会 会議録

1. 日 時 平成25年2月15日(金) 午前9時31分～午前10時37分
2. 場 所 伊丹市立中央公民館 2階 講義室A
3. 主 宰 者 委員長 滝内 秀昭
4. 委員の出席 滝内 秀昭 廣山 義章 小林 万理子 木下 誠
5. 委員の欠席 川畑 徹朗
6. 傍 聴 人 1人
7. 関係者の出席
- | | | | |
|------------|-------|------------|-------|
| 教育長 | 木下 誠 | 総合教育センター主幹 | 村上 順一 |
| 管理部長 | 谷澤 伸二 | 保健体育課長 | 森田 邦彦 |
| 学校教育部長 | 蘆原 時政 | 学校給食センター所長 | 松浦 洋一 |
| 生涯学習部長 | 大石 正人 | 社会教育課長 | 長野 直美 |
| 教育長付参事 | 村上 雄一 | スポーツ振興課長 | 谷 泰史 |
| 学教教育室長 | 峰松 誠治 | 公民館長 | 久安 研一 |
| 生涯学習部副参事 | 小長谷正治 | 人権教育室主幹 | 松山 和久 |
| 人権教育室長 | 上田ひとみ | 学校指導課副主幹 | 村上 雅博 |
| 職員課長 | 升井 竜雄 | 少年愛護センター主査 | 米田 博一 |
| 施設課長 | 田原 安治 | 図書館 | 上杉 泰史 |
| 教育施策企画担当主幹 | 花光 潤一 | 教育総務課長 | 山田 正人 |
| 学校指導課長 | 春名 潤一 | 教育総務課副主幹 | 乾 義昭 |
| 学校改革・学事課長 | 田村 芳雄 | 教育総務課 | 山本 逸美 |

8. 議 事

(1) 開会宣言 滝内委員長(午前9時31分)

(2) 日程報告 滝内委員長より次のとおり会議を進める旨の発議があり、全委員これを了承。

- | | | |
|-----|---|----------------|
| 日程第 | 1 | 前回および前々回会議録の承認 |
| 日程第 | 2 | 教育長報告 |
| 日程第 | 3 | 報告第2号の承認 |
| 日程第 | 4 | 議案第9号の審議 |
| 日程第 | 5 | 議案第10号の審議 |
| 日程第 | 6 | 議案第11号の審議 |

滝内委員長から「議案第10号及び議案第11号は人事案件であるため、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第13条第6項の規定に基づき非公開にしたいと思いますが、よろしいでしょうか」との発議があり、全委員はこれを了承。

議案第10号及び議案第11号は非公開の秘密会となる。

(3) 前回および前々回会議録の承認（日程第1）

平成25年第1回伊丹市教育委員会定例会（平成25年1月24日〈木〉開催）及び平成25年第2回伊丹市教育委員臨時会（平成25年2月6日〈水〉開催）の会議録については、全委員一致でこれを了承。

(4) 教育長報告（日程第2）

教育長の指示により、管理部長より「2月分人事報告」・「1月分教育施設関係工事の着工・竣工報告」・「1月分寄附採納報告」について、学校教育部長より学校教育部の、生涯学習部長より生涯学習部の、人権教育室長より人権教育室の、「1月分行事実施報告」「3月分行事実施予定」について、それぞれ説明があり、質疑応答の後、全委員一致で「教育長報告」を承認。

質疑応答

木下教育長

8－1 ページ。保健体育課の行事实施報告に、1月18日に行われた保健担当者会食物アレルギー研修会がある。これは12月20日に東京都調布市で5年生の女兒がチーズ入りのチヂミを食べてアナフィラキシーショックを起こし死亡するという事件を踏まえている。新聞報道によると、1回目は用意されていた除去食を食べたが、おかわりでチーズ入りのチヂミを食べて、アナフィラキシーショック症状を起こしたということ。万全の体制を整えているにも関わらず、ちょっとした間隙をぬって、そういった状況に陥るということは伊丹市でも在り得る。現在、伊丹市でアナフィラキシーショックの危険性を持っている児童・生徒が幼稚園、小学校、中学校、高等学校にどのくらいいるのか、現在、エピペンの自己注射が有効とされているが、それを使った状況があるのか教えていただきたい。

蘆原部長

アナフィラキシーを発症する恐れのある子どもたちは29人いると報告を受けている。幼稚園で1人、小学校で17人、中学校で10人、市立伊丹高等学校は1人で合計29人です。それぞれ学校の保健室では、対処法として保護者の了解のもと薬品等を保管している。小学校における給食では、子どもによってそれぞれ違うアレルギーの原因食物を、保護者が献立を見て、当日欠食あるいは全欠食という形で、家庭から昼食を持参して対応している。

木下教育長

近隣の西宮市でもこのようなことがあったということなので、万全を期していきたいと思う。

小林委員

今のことでもう一点聞きたい。児童生徒がアナフィラキシーショックを発症する可能性があるということは学校内の職員や、外部から来ている介助員の方々も全て共通して理解しており、担任が不在の場合や保健室の先生

- が離れている場合などは、誰でも対処でき、どこに薬があるかというような事も理解できているのか。
- 蘆原部長 毎年度初めにそのようなことの共通理解を図っている。保健関係、生徒指導関係で行っている。
- 小林委員 ありがとうございます。
- 蘆原部長 それと併せて、大体、各学校で夏季休業中に職員研修会を2～3日持ちます。その中でそういった児童・生徒について、詳しく研修会も行っている。
- 木下教育長 調布市で起きた事故は、エピペンの注射を打つのを一瞬躊躇して、校長が次に打とうと思った時にはもう意識がなかったという状態。判断に非常に緊急を要する状況だと思う。必要な時にきちっと注射を打つなどの行動ができなければならない。AEDや救急蘇生法でも一瞬の判断が大切であり、その体制をきっちりと整備しておく必要があると思う。
- 滝内委員長 事故がないようによろしくお願いします。佛山市への派遣については1月に結団式や事前研修会等を行い、いよいよ3月に引率者2名、生徒8名で出向くことになる。受け入れ側は、問題ないということだが十分ご留意のうえ業務に励んでもらいたい。よろしくお願いします。
- 木下教育長 この件については今、外事局からは受け入れに支障がないと報告をもらっているが、佛山市民は500万人以上おり、ここでも暴動が起き商店が破壊されている。そこに日本の生徒が行くにあたり、一番に安全の確保をしなければならないと思う。安全に万全を期していく中で予期せぬことが起きたときの対応、連絡体制を考えておかなければならない。この後、外事局と詰めて体制を作っていくとイケない。状況はまだ変化するし、今、日中関係もあまりよい状況でないので慎重にやっていかなければならない。

(5) 報告第2号の審議（日程第3）

滝内委員長から「報告第2号 教育長の委任事項並びに専決事項に関する規則第2条第2項の規定による専決処分報告について」のうち「専決第2号 平成25年度教育関係費当初予算要求の申出について」を議題とする旨の発議があり、教育長から、「平成25年度教育関係費当初予算要求を市長に申し出ることについて、緊急を要したので専決処分により処理したものです」との説明がなされ、管理部長より、補足説明があり、質疑応答の後、全委員一致で「報告第2号」の「専決第2号」を承認。

質疑応答

- 滝内委員長 一般会計、こどものいじめ問題対策推進事業と銘打った事業で、款：教育費、項：教育総務費、目：学校指導費になっている。今回計上されているのはリーフレットの発行費用ということだが、実際の主管部門、問い合わせ等の対応というのはどこがするのか。
- 谷澤部長 それぞれ、右上に「担当」と書かれた欄があり、ここでは学校指導課と書いている。電話番号含めて学校指導課で対応したいと思う。
- 滝内委員長 よくわかりました。
- 木下教育長 いじめと体罰については市民の関心も非常に高く、何らかの施策を打っていかなければいけない。特に今は、いじめから体罰に関心が移行していると思う。私は学校自身が、自浄能力や教育力を高めていくことが一番大事だと思う。体罰等は教職員の意識を変えていかなければならないので、そのような研修を、総合教育センターを中心として、運動部の顧問の先生や運動総務の先生を対象にしたものと、悉皆で行えたらと考えている。予算との関係もあるが、来年度は教員の資質を上げていき、意識改革をしていく、教育力を高めていく、そういう方向でやりたいと思っている。
- 滝内委員長 よくマスコミで報道されているのは、外部委員会を設置するというような、緊急的にされている事だが、まずは内部委員会。学校指導課で主管されるということで、それが内部委員会として機能すると思うが、何らかの形作りも含めて、今回の予算に関係するかわからないが、構築いただければありがたい。今のは意見です。

(6) 議案第9号の審議（日程第4）

滝内委員長から「議案第9号 伊丹市立学校給食センター運営協議会規則の一部を改正する規則の制定について」を議題とする旨の発議があり、教育長から、「組織改正に伴う規定整備を行うため、伊丹市立学校給食センター運営協議会規則の一部を改正する規則を制定するものです」との説明がなされ、学校教育部長より、補足説明があり、質疑応答なく、全委員一致で「議案第9号」を可決。

(7) 議案第10号、議案第11号の審議（日程第5、日程第6）

秘密会で審議の後、全委員一致で、「議案第10号」「議案第11号」を可決。

(8) 閉会宣言

滝内委員長 (午前10時37分)

上記のとおり会議の要旨を記録し、ここに署名押印する。

伊丹市教育委員会委員長

滝内 秀昭

伊丹市教育長

木下 誠